

GREEN BREEZE



草軽電気鐵道
新軽井沢駅 (1957年)



信濃追分駅 (1983年)
撮影者：橋本 正三

Contents

- 1 ● 求められるリゾートとして・・・ 2p
● 軽井沢で少し贅沢な時間を
- 2 草軽電気鐵道・・・ 3p
- 3 Ruiza ちゃん! 取材日記・・・ 4p
● 信濃追分駅 100周年を祝う!
● 追分駅の利活用
地域の生産者、職人によるコミュニティーマルシェ
● しなの追分『日曜朝市』
● しなの追分馬子唄道中

- 4 イベント報告・・・6p
● 軽井沢ハーフマラソン
● ウクライナ支援「平和祈念コンサート」
● 観光協会 HP・Instagram レポート 配信
● 町制施行 100周年記念特別企画展
- 5 軽井沢 Information・・・8p
● 挑戦!「#軽井沢クイズ」
● 新会員紹介
● 写真でつながる
2023軽井沢フォトコンテスト開催中!
● イベントスケジュール

会長 土屋 芳春

2022年の観光入込数は732万人となり、コロナ前直近（2019年840万人）の87%まで回復しました。コロナ5類への移行など国策も然り、人々の行動欲求が解き放たれた感があります。

さて、観光回帰が散見されるなか大きな地域問題も顕在化してきました。①コロナ禍で雇用調整した結果や雇用欲求の変化による人財不足（ホテルや商業施設等の増加によりさらに増幅）②夏期や連休の渋滞や混雑③社会インフラの整備不足（人・車・自転車の明確な分離、バリアフリーの徹底、景観形成計画）などが挙げられます。これらの問題も踏まえつつ、民間による各種の地域課題の意識共有などを図るため、軽井沢町商工会や軽井沢ホテル旅館組合と意見交換を始めました。方向性が決まり次第、軽井沢町からの参加を促したいと考えています。

町公表の観光データによれば、来軽者（840万人）×個人消費単価（3,200円）=約269億円となります。就労人口の8割がサービス業に従事する観光立町の経済に大きく寄与していることが分かります。先ずは、現状の地域経済構造、そして観光の活性化と誘客活動に際してご理解いただければ幸いです。その一方で、プリンスショッピングプラザの2022年度売り上げが、過去最高の541億円との報道もありました。改めて、観光戦略に寄与する精度の高いデータ収集が求められていることは間違いありません。

当協会や会員企業では、軽井沢の観光ビジョンを上位概念に据え、季節の平準化、滞在期間を増やす商品開発（アクティビティの質的向上、ビジネス市場、欧米マーケット開拓、高消費インバウンド誘客、ドッグ・フォト・ガストロノミー等のツーリズム、広域エリアとの連携等）を進めています。

観光は創造産業であり、多様化する来軽者ニーズに対する戦略には、地域イメージの保持も当然ながら、ITやAI（DX）の活用と持続可能性が無ければなりません。重ねて、今後ともご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



▲資料はこちらから

軽井沢で少し贅沢な時間を

広報委員会 委員長 小林 里恵

今年は、軽井沢町町制施行100周年と信濃追分駅開業100周年の記念の年になります。

軽井沢観光協会広報誌 GREEN BREEZE 54号は、草軽電気鉄道や軽井沢の今昔に触れ、受け継がれてきたものや新しく生まれるものをご紹介します。

また、5月にリニューアルしたホームページのキャッチコピーは「軽井沢で少し贅沢な時間を」です。旅マエでの情報収集、旅ナカでは少し贅沢な時間を味わっていただき、旅アトは思い出や余韻を楽しんでもらえたら嬉しく思います。

「屋根のない病院」と謳われてきた高原の町軽井沢、先人たちが築いてきた歴史のなかで時代と共に様々なものが移り変わってきました。これから先の100年は想像もつきませんが、訪れる人々が癒され「軽井沢に来てよかった」と思ってもらえる町であってほしいと願っています。



のどかな軽便鉄道「草軽電気鉄道」は客車と貨車をつないだ混合列車で、草津温泉と軽井沢をのんびりとした速度で走っていました。

1902年2月23日草軽電鉄の前身である草津興業が軽便軌条設特許を内閣総理大臣へ申請することから、この鉄道は始まります。

スイスの登山鉄道にヒントを得て、入替機関車用の小さな電機を米国ジェフリー社から購入し、軽井沢から浅間山麓浅間高原と草津温泉間(55.5km)を、2時間半から3時間かけて約60年間駆け抜けました。

当初は蒸気機関車が客車をけん引し、その後電化しました。国鉄がまだSL時代に電化していたこの鉄道は、1962年2月1日大雪の中、さよなら運転で終わりを告げました。少しだけ時代より早すぎた軽便鉄道、ピーク時の乗客は年間50万人ほどの旅行者を案内しました。草津白根で採れる硫黄を貨車に載せ、客車と混合の列車は、運転士と車掌の息を合わせた制動操作で巧みに列車を操りました。

小さな体の機関車は、パンタグラフの特殊な形状と力強く走る様子から「カブトムシ」の愛称で親しまれました。季節によって運行された「あさま号」は、白樺の木を柱にしオープン型の客車に提灯をつけて、暑さを忘れさせるくらい楽しませてくれました。

綺麗な野花があると電車を止めて花摘みをしたり、小さな体の機関車は車輪が脱線してしまうと、乗客はそれさえも楽しんだりしました。戦争時代には出征兵士の輸送にも利用されました。幸せな時、辛い時、ひたすら寡黙に車輪を軋ませ電車は走りました。

映画では「カルメン故郷に帰る」「月がとつても青いから」「山鳩」などに登場し、当時の映像を見ることができます。

古き良き時代と技術が発達した便利な今、この電鉄が存在したら私たちに何を語りかけてくれるのか。ついつい思いを馳せてしまいます。

草軽交通軽井沢営業所 千島 秀夫



▲しらかばの木が柱の客車



▲長日向駅



▲草軽ステッカー

草軽電気鉄道ステッカー販売中!

価格 880円(税込)3枚セット

販売場所

- 軽井沢観光案内所(軽井沢駅構内)
- 軽井沢観光案内所(くっつけテラス内)
- 軽井沢観光会館
- 軽井沢町観光振興センター
- 草軽交通株式会社 軽井沢営業所窓口

詳細はこちら





信濃追分駅100周年を祝う!

信濃追分駅は明治四十二年(1909)に避暑客のために仮停車場として営業を開始し、大正十二年(1923)十月一日に一般の駅として開業しました。

国鉄~JR東日本~しなの鉄道へと経営主体の変遷とともに、有人駅から現在は自動券売機対応での無人駅となっています。イベントなどで臨時窓口を開設すると、若かりし頃利用されたお客様が窓口で懐かしいというお声を掛けて下さいます。

信濃追分駅はJRを除いた鉄道会社の駅としては最高標高駅(957m)で、国鉄時代の木造駅舎や待合室を現役で使用している貴重な駅です。また1番線ホームには国鉄時代の駅名看板が設置され、晴れた日には浅間山の雄大な風景が広がる高原の駅となっています。

この駅を大事に残そうということで有志のグループ(あたら会)が結成され、春秋の除草・山野草の植栽・イベントの開催など、この駅の景観維持や保存に協力いただいています。是非一度お立ち寄りください。

しなの鉄道軽井沢駅 駅長 柴田 公成



大正12年築/停車場規定5等級2号設計図に基づいて造られました

信濃追分駅の利活用! 地域の生産者、職人によるコミュニティマルシェ

追分の借宿に住み始めて約3年、緑豊かで静かな環境が気に入っています。レトロ感満載の信濃追分駅も大好きですが、駅周辺にお買い物ができる場所がないことが気になっていて、日々の生活がちよっと豊かになり、地域の輪が広がる、そんな地域の交差点になるマルシェを開催したいと思うようになりました。そこで、地域の生産者や職人によるコミュニティマルシェを企画しました。しなの鉄道のご協力により、駅構内にもポスターを貼りました。マルシェの時間帯は夕市をイメージして15時から18時に設定しました。当日は私達の予想以上の地域の方々にお越し頂き、たくさんの笑顔に溢れた素敵な時間となりました。9月から11月まで毎月開催予定にしています。地元民による小さな追分駅マルシェを盛り上げていきたいと思えます。

小さな追分駅マルシェ 河野 伸子



<p>遠山農園</p> <p>産地の地で採れた新鮮野菜</p>	<p>BAKE LABO karuzawa</p> <p>追分の焼き菓子工場の焼き立てパン・焼き菓子</p>	<p>こみっこ農夢</p> <p>産地の平飼い鶏の卵、自家栽培有機米</p>
---------------------------------	--	--

※参加店舗の情報は右記Instagramページをご覧ください。
※お車の方は追分追分駅の町営駐車場をご利用ください。(1時限まで無料)

しなの追分『日曜朝市』



コロナ蔓延の中スタートした、しなの追分「日曜朝市」。信濃追分駅が築100年を迎えるメモリアルイヤーとして、お祝いするためのイベントとして企画しました。

真夏の朝、特別に爽やかな軽井沢を散策し、ペットや家族と楽しんでもらいたいと、テーマは「美しい村軽井沢の朝を楽しむ」としました。

今年はその2年目、テナントも充実し、登録テナントは35になりました。しなの鉄道信濃追分駅ではギャラリーと駅カフェを開催し、追分中心部では寿美屋駐車場を利用してフリーマーケットを開催しました。

オープニングの7月30日は、好天に恵まれて順調にスタートしました。予定していた「追分朝そば」が提供できないというトラブルはありましたが、急遽「追分くるみおはぎ」を提供するなどして好評でした。直営の「朝どり新鮮野菜」はもとより、テナントのみなさんが投げかける笑顔にお客様が楽しんでおられる姿が印象的でした。朝市のような物販イベントは、地元参加に加えて認知を広げて続けていくことが大事だと考えます。

今後ともみなさんのご理解とご参加をお願いします。

しなの追分日曜朝市実行委員会 委員長 土屋 裕

しなの追分馬子唄道中

4年ぶりに開催できた軽井沢町内最大のお祭り「しなの追分馬子唄道中」は、38回を数えます。そもそも、西地区に初めて作られた町立の博物館である「追分宿郷土館」の開館を祝い、地元有志が集まって全国の歴史ある祭りを研究して、第1回を開催したものです。

雨によく見舞われるお祭りといういわれもありますが、今年は梅雨明けの翌日に行われました。快晴のお天気に恵まれて、再開には絶好の日和になりました。西地区全体の老若男女がボランティアに関わり、子ども神輿・大名行列・ステージの芸能発表など、以前を上回るような盛り上がりの中、成功裡に開催できました。

商工会西軽井沢支部としては、模擬店による地域特産の味を提供しましたが、1時過ぎには売り切れるほどの賑わいでした。

久しぶりのイベントで開催にはたいへんなエネルギーが必要でしたが、こうしたイベントの必要性も身に沁みたと感じました。

軽井沢町商工会 西軽井沢支部 支部長 土屋 裕



軽井沢ハーフマラソン

2023年5月14日(日)「軽井沢ハーフマラソン 2023第38回ロードレースin 軽井沢」が4年ぶりに開催されました。出走者はハーフの部が5522名、ファミリーペアの部が191名でした。

スタート前はあいにくの濃霧でしたが、ランナーの多くの方はちょうど良い気温とおっしゃっていました。

軽井沢観光協会事業委員会は、ゴール地点の軽井沢プリンスホテルスキー場駐車場で、ランナーの方々にカットフルーツを提供致しました。

5000 個以上のバイオマスプラスチックケースに、りんご・オレンジ・いちごを詰める作業は非常に大変でしたが、観光協会会員、ISAK 軽井沢の生徒、軽井沢議会の議員などボランティアのご協力で無事配る事ができました。

また、9月23日(土祝)には、軽井沢リゾートドッグフェスティバル2023が軽井沢プリンスホテルスキー場で開催されます。軽井沢ドッグツーリズム推進プロジェクトも協力いたします。

事業委員会 委員長 和貝 たかね



ウクライナ支援「平和祈念コンサート」

2023年4月15日(土)、優れた音響で知られる軽井沢大賀ホールにて、ウクライナ支援「平和祈念 コンサート」(指揮:田久保裕一、管弦楽:ジャパン・フェスティバル・オーケストラ)が開催されました。ウクライナでは未だに軍事侵攻が続き、国民の多くが厳しい生活を余儀なくされています。この軽井沢町は、第二次世界大戦中にウクライナ出身のピアニスト、巨匠レオ・シロタ氏が疎開していた場所で、1929年に来日して以降、演奏家及び教育者として数多くの弟子を育てた人物です。そのような軽井沢町とウクライナのご縁から、この度のコンサートを企画しました。

当日の収益、そして来場者からの心温まる寄付金(133,003 円)を、軽井沢観光協会を通じてウクライナ大使館へ寄付を致しました。来年は6月22日(土)に同じく軽井沢大賀ホールにて実施予定です。平和を願う僅かな支援ではありますが、少しでもお役に立てればと考えております。

一般社団法人国際親善音楽交流協会 会長 丸山 直史



観光協会 HP・Instagram レポート配信

軽井沢観光協会特典として出している「観光協会HP・Instagramレポート」を配信します。

今回は2023年5月、6月分の「軽井沢観光協会公式ホームページ閲覧状況」と「Instagram状況」になります。QR「レポートダウンロード」よりご覧ください。

HP

閲覧されたページの上位20ページと、国内・海外のどのエリアからの流入。

Instagram

人気コンテンツTOP3。



レポートダウンロード

▼ホームページ全体アクセス数(ユーザー数)

2023年5月	63,454
昨年5月	45,070(昨年比+18,384)
前月4月	47,829(前月比+15,625)
2023年6月	91,907
昨年6月	53,003(昨年比+38,904)
前月5月	63,454(前月比+28,453)

軽井沢観光協会会員募集中!
詳しくは軽井沢観光協会事務局までお問い合わせください。
TEL:0267-41-3850

町制施行 100 周年記念特別企画展

～写真・ハガキで見る歴史展 軽井沢の今昔～

歴史民俗資料館では、江戸時代に「浅間根腰の三宿」と呼ばれ、宿場町(軽井沢宿・沓掛宿・追分宿)として栄えた軽井沢町が、町政を開始してから国際親善文化観光都市として花開いていったその歴史を、写真とハガキで振り返る特別企画展を開催します。

期 間：7月1日から11月15日(水)

入 館 料：大 人:400円

小中高生:200円

※常設展、旧近衛文麿別荘も併せて観覧いただけます

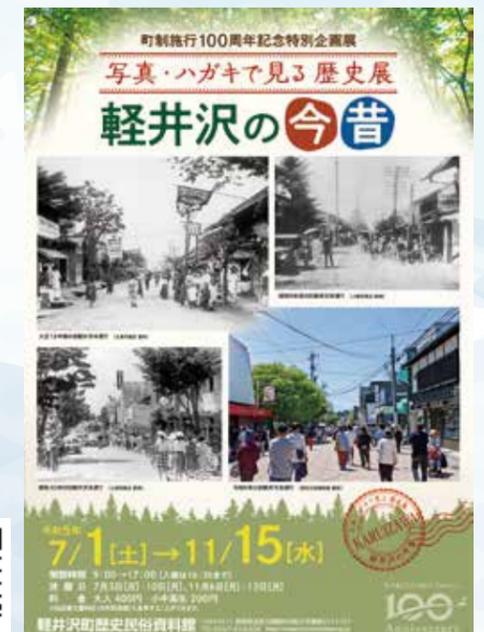
開催時間：9時から17時まで(入館は16時30分まで)

休 館 日：11月6日(月)、11月13日(月)

軽井沢町歴史民俗資料館

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉 2112-101

TEL：0267-42-6334 <https://www.town.karuzawa.lg.jp/>



挑戦!「#軽井沢クイズ」

軽井沢観光協会公式X(旧Twitter)では毎週金曜日お昼12:00に軽井沢小ネタを中心としたクイズを出題中!
今回は過去のクイズの中から1問を出題します!是非挑戦してみてください!



軽井沢観光協会公式 X
(旧 Twitter)
(@karuizawa_kta)



軽井沢クイズ募集フォーム
軽井沢の小ネタをお持ちのそこのあなた!
こちらの QR先には是非ご共有ください。実際にクイズとして使用されるかも?



問題
軽井沢と草津温泉を結んでいた「草軽電気鐵道」はいつまで運行していた?

- ① 1924年2月
- ② 1939年4月
- ③ 1962年2月
- ④ 1993年4月

ヒント! 3pに詳しく書いてあるよ!

新会員紹介!(2023.4月~7月)

軽井沢観光協会に新たに加わった会員の皆様を紹介します!

正会員

有限会社 重野工務店
Nature軽井沢
土屋製製造所 軽井沢工房店

torinos
Nobechi Creative
軽井沢ウスキー株式会社

軽井沢鹿工房アニマルジビエ
株式会社ポーラリゾート
軽井沢アンワイナリー

準会員

パタゴニア軽井沢ストア

軽井沢レンタカー

写真でつながる2023軽井沢フォトコンテスト開催中!

「思い出の軽井沢」「楽しい軽井沢」をテーマに募集します。

参加方法

1. 軽井沢で「いいね」と感じた瞬間を撮影。
2. Instagramのご自身のアカウントで軽井沢フォトコンテストの公式アカウント @karuizawaphoto.official をフォローする。
3. 軽井沢で撮影した写真にハッシュタグ「#2023karuizawaphotocontest」を付けてInstagramに投稿する。
4. 投稿された写真の中からテーマに合った作品を、軽井沢フォトコンテストの公式アカウントにて、随時リポストさせていただきます。入賞作品の撮影者には SNSダイレクトメッセージにてコンテスト実行委員会より連絡いたします。

締め切り日: 2024年2月2日(金)

結果発表: 2024年2月末頃(予定)

賞概要

グランプリ(1点): 3万円
思い出の軽井沢賞(2点): 1万円
楽しい軽井沢賞(2点): 1万円
2人の軽井沢賞(2点): 3000円
「美しい村」賞(2点): 3000円
冬ものがたり賞(4点): 賞品など
入選(30点): webにて発表させていただきます。

※入賞作品は軽井沢観光協会ホームページ・公式SNSアカウントにて発表致します。また、応募作品を用いた広報活動などにも掲載いたします。
※賞金・商品の発送先は国内のみとなります。



イベントスケジュール

軽井沢文化祭 (KARUIZAWA Culture Festival)

開催日時 9月16日(土)~10月1日(日)
開催場所 軽井沢町内
音楽フェスなどイベント開催!

軽井沢リゾートドッグ フェスティバル2023

開催日時 9月23日(土・祝)
開催場所 軽井沢プリンスホテル
スキー場

